

2026(令和8)年度

編入学(学士入学を含む) 学生募集要項

外国語学部
経済学部
文学部
法学部



北方キャンパス



公立大学法人
北九州市立大学
THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU

目 次

A 試験概要

| | |
|-----------------------|---|
| 1 実施日程・募集人員 | 1 |
| 2 編入年次について | 1 |
| 3 出願資格、教科・科目に係る個別テスト等 | 2 |
| 4 合否判定基準 | 2 |

B 出願

| | |
|------------------|---|
| 1 出願方法 | 3 |
| 2 出願期間等 | 4 |
| 3 出願書類 | 4 |
| 4 出願上の注意 | 5 |
| 5 受験票について | 5 |
| 6 受験及び修学上の配慮について | 5 |
| 7 過去問題の閲覧について | 5 |
| 8 入学検定料の免除について | 5 |

C 試験

| | |
|----------|---|
| 1 受験上の注意 | 5 |
| 2 試験会場 | 6 |

D 試験後

| | |
|-------------|---|
| 1 合格発表 | 6 |
| 2 入学手続 | 7 |
| 3 入学金等納入金一覧 | 7 |
| 4 年間授業料 | 8 |

| | |
|--------------------|---|
| E 入試における感染防止対策について | 8 |
|--------------------|---|

F その他

| | |
|---------------------|----|
| 1 教育目的 | 9 |
| 2 アドミッション・ポリシー | 10 |
| 3 ディプロマ・ポリシー | 13 |
| 4 入試情報の成績開示について | 14 |
| 5 個人情報の取扱いについて | 15 |
| 6 個人用ノートパソコンの必携について | 15 |

【各種様式】

・編入学（学士入学を含む）試験 入学希望理由書

A 試験概要

1 実施日程・募集人員

| | | | | | |
|-----------|-----------------------------|------|---|-----------------------|-----------------------|
| 出願期間 | 2025年7月28日(月)～8月1日(金)必着 | | | | |
| 受験票印刷可能期間 | 2025年8月25日(月)～2026年1月23日(金) | | | | |
| 試験日 | 2025年9月7日(日) | | | | |
| 学部 | 学科 | 募集人員 | 集合 | 試験科目 | 試験時間 |
| 外国語部 | 英米学科 | 若干名 | 北方 キャンパス 本館 9:30 集合 | 英語 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| | 中国学科 | 若干名 | | 中国語 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| | 国際関係学科 | 若干名 | | 小論文 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| 経済学部 | 経済学科 | 若干名 | | 専門試験 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| | 経営情報学科 | 若干名 | | 専門試験 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| 文学部 | 比較文化学科 | 若干名 | | 小論文 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| | 人間関係学科 | 若干名 | | 小論文 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| 法学部 | 法律学科 | 若干名 | | 小論文 面接 | 10:00～11:30 13:00～ |
| | 政策科学科 | 若干名 | 小論文 面接 | 10:00～11:30 13:00～ | |
| 合格発表 | 2025年9月12日(金) | | | | |
| 入学手続期間 | 2026年1月20日(火)～1月23日(金) | | | | |

2 編入年次について

編入年次は学部・学科で異なります。

| 学部・学科 | | 編入年次 |
|-------|--------|--------------------------------------|
| 外国語学部 | | 3年次 |
| 経済学部 | | 3年次または2年次 (単位認定後の認定単位数によって決まります。) |
| 文学部 | 比較文化学科 | 3年次 |
| | 人間関係学科 | 原則として2年次 |
| 法学部 | | 原則として2年次 |

※既修得単位について、本学の認定の結果によっては、2年間ないし3年間で卒業できない場合もあります。

※受給中の奨学金についても、編入後、継続して受給できない場合があります。

3 出願資格、教科・科目に係る個別テスト等

大学入学共通テストは課しません。

教科・科目に係る個別テストは、以下「個別テスト」と表記します。

| 学部 | 学科 | 募集人員 | 出願資格 | 選考方法 | 個別テスト等 | | |
|------|--------|------|---|--|---|------------|----------|
| | | | | | 科目等 | 時間 | 配点 |
| 外国語部 | 英米学科 | 若干名 | 【外国語学部英米学科】 以下のいずれかの英語の公的資格を有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの (記載レベル以上) ・実用英語技能検定(英検):準1級(注1) ・TOEFL iBT:80点(注2) ・TOEIC L&R:730点(注2) ・IELTS:6.0点(注3) 【外国語学部中国学科、国際関係学科・文学部】 次の各号のいずれかに該当する者 【経済・法学部】 TOEFL iBT 45点(注2)以上、又は、TOEIC L&R 450点(注2)以上のスコアを有する者で、次の各号のいずれかに該当するもの ①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ②短期大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2026年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること。)を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2026年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2026年3月までに修了見込みの者 | 英語 面接(注4) (入学希望理由書) | 90分 — | 100 30 | |
| | 中国学科 | 若干名 | | 中国語 (リスニングを含む) 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 160 40 | |
| | 国際関係学科 | 若干名 | | 小論文 面接(注5) (TOEFL又はTOEIC(注2)) (入学希望理由書) | 90分 — | 100 200 | |
| 経済学部 | 経済学科 | 若干名 | ①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ②短期大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2026年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること。)を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2026年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2026年3月までに修了見込みの者 | 個別テストの成績、面接、入学希望理由書を総合的に判断して合格者を決定する。 専門試験 (ミクロ経済学・マクロ経済学の2分野から各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 70 30 | |
| | 経営情報学科 | 若干名 | | ①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ②短期大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2026年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること。)を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2026年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2026年3月までに修了見込みの者 | 専門試験 (マネジメント・会計・情報の3分野から各1問:全問解答) 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 70 30 |
| 文学部 | 比較文化学科 | 若干名 | ①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ②短期大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2026年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること。)を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2026年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2026年3月までに修了見込みの者 | 小論文 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 170 30 | |
| | 人間関係学科 | 若干名 | | 小論文 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 140 60 | |
| 法学部 | 法律学科 | 若干名 | ①修業年限4年以上の他の大学2年次を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ②短期大学を卒業した者又は2026年3月までに卒業見込みの者 ③高等専門学校を卒業した者又は2026年3月に卒業見込みの者 ④専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であること。)を修了した者又は2026年3月までに修了見込みの者 ⑤本学又は修業年限4年以上の他の大学を卒業(2026年3月までに卒業見込みを含む。)し、本学の学部に入学を希望する者 ⑥学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は2026年3月31日までに授与される見込みの者 ⑦学校教育法施行規則附則第7条第1項に定める従前の規定による学校の課程を修了し、又はこれらの学校を卒業した者 ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者(2026年3月までに修了見込みの者を含む) ⑨我が国において、外国の短期大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育制度における14年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの課程を修了した者 ⑩高等学校(中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。)の専攻科の課程(修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。)を修了した者(学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。)又は2026年3月までに修了見込みの者 | 小論文 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 100 100 | |
| | 政策科学科 | 若干名 | | 小論文 面接 (入学希望理由書) | 90分 — | 100 100 | |

(注1) 実用英語技能検定(英検)は英検S-CBTを含みます。

(注2) TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間の成績を有効とします。提出すべき成績通知書は、TOEFL「受験者控えスコアレポート」、TOEIC「公式認定証」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。

(注3) IELTSはコンピューター版を含みます。

(注4) 面接は、英語及び日本語で行います。

(注5) TOEFL、TOEICの成績は、面接の際の参考とします。

4 合否判定基準

個別テストと面接をそれぞれ点数化し、合計点をもとに総合的に判断して合否を判定します。

なお、入学希望理由書(外国語学部国際関係学科は、TOEFL iBT又はTOEIC L&Rの成績も含む)は面接の際の参考とします。また、試験の成績によっては合格者がいない場合もあります。

B 出願

1 出願方法

(1) 事前準備

- ① インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等の準備
学校や予備校など自宅外のパソコンからも出願できます。インターネット出願ができる環境が整っていない場合は、事前に北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（093-964-4022）までご相談ください。
- ② プリンターの準備
A4サイズの用紙が印刷できるプリンター（モノクロ、カラーは問いません）が必要です。出願確認票や宛名ラベル、受験票等を印刷する際に必要になります。
- ③ 利用可能なメールアドレスの準備
電子メールアドレスが必要になります。スマートフォン・携帯電話のメールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。
本学から、入学試験に関する重要なお知らせ（出願登録確認・入学検定料支払い確認等）を配信します。
- ④ 入学検定料支払い方法の確認
コンビニエンスストア、クレジットカード、銀行ATM、ネットバンキングでの支払い方法があります。支払い方法は「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。
- ⑤ 必要書類の準備
調査書、顔写真等の出願に必要な書類等は、発行や作成に時間がかかる場合がありますので、早めに準備をしてください。
- ⑥ 角形2号（角2）封筒の準備
出願書類を提出するため、市販の角形2号（角2）封筒（240mm×332mm）を事前に準備してください。

(2) 出願登録

インターネットによる「出願登録」を行います。
出願登録等の手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料17,000円（別途、サービス利用料900円）をお支払いください。
入学検定料の支払い手順は、「インターネット出願」サイトにアクセスして確認してください。

(4) 出願書類の提出

出願登録、入学検定料支払い後、出願書類の提出をしてください。
出願書類の提出方法は、「2 出願期間等」、「3 出願書類」を確認してください。

■インターネットを利用した出願の流れ



※出願の流れは、各選抜共通の流れです。「⑥出願書類の提出（郵送）」は、提出方法・提出書類の種類が各選抜で異なりますので、それぞれの学生募集要項を必ず確認してください。

2 出願期間等

(1) 出願期間等

| | |
|--------------------------------|--|
| 出願期間 (出願書類の提出) | 2025年7月28日(月)から 2025年8月1日(金)まで(必着) |
| 出願登録・入学検定料支払期間 (インターネット入力等) | 2025年7月18日(金)から 2025年8月1日(金)16:00まで |

(2) 出願書類の提出方法

出願書類は次の方法で提出してください。なお、提出は、必ず「出願期間」内としてください。出願期間外(出願登録・入学検定料支払期間内の7/18~7/27も含む)は受理できませんのでご注意ください。

必ず「速達・簡易書留」で出願期間内に到着するように郵送してください(8月1日(金)必着)。ただし、7月31日(木)以前の発信局(日本国内)消印のある「速達・簡易書留」で郵送されたものに限り、8月2日(土)以降に到着した場合でも受理します。

※出願期間最終日の8月1日(金)のみ、9:00~17:00に下記送付先への持参が可能です。

[送付先]

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号 北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

3 出願書類

出願登録、入学検定料支払い後、次の書類等を一括して提出してください。出願書類は、必ず下記③宛名ラベルを貼付した角形2号(角2)(240mm×332mm)封筒に封入してください。

| | | |
|-----------------------------|---|--|
| 登録内容 インターネット 印刷 出願 | ①出願確認票 | インターネット出願登録後、印刷したもの。 |
| | ②写真票 | インターネット出願登録後、印刷したものに、上半身・脱帽・無背景・正面向きで出願前3ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cmサイズの写真の裏面に氏名を記入の上、所定欄に貼付してください。 |
| | ③宛名ラベル | インターネット出願登録後、印刷したものを角形2号(角2)封筒に貼付してください。 |
| その他 必要 書類 | ④卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書等 | ア 出願資格①・④・⑥以外に該当する者 ・出身大学・短期大学等の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 イ 出願資格①に該当する者 ・出身大学の在学証明書 ウ 出願資格④に該当する者 ・出身専修学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書 ・専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、専門課程の修了に必要な総授業時数が1700時間以上であることを証明する書類 エ 出願資格⑥に該当する者 ・学位取得者は学位授与証明書 ・学位取得見込者は専攻科修了見込証明書及び学位授与申請証明書 |
| | ⑤成績証明書 | 大学・短期大学等の成績証明書を提出してください。 |
| | ⑥入学希望理由書(様式1) | 所定の様式に志願者本人が自筆で記入してください。 |
| | ⑦TOEFL又はTOEICの成績通知書 (外国語学部国際関係学科・ 経済学部・法学部のみ) | TOEFL又はTOEICの成績通知書(コピー)を提出してください。 |
| | ⑧英語の公的資格の証明書 (外国語学部英米学科のみ) | 出願資格に該当する英語の公的資格の証明書(コピー)を提出してください。 |
| ⑨住民票等 (外国人留学生のみ) | 居住地の市区町村長発行の、在留資格及び在留期間が記載されている住民票(原本)を提出してください。 ※日本に居住していない場合は、パスポートの写しを提出してください。 | |

※ 記入には、黒のボールペンを使用してください。鉛筆で記入した書類は、受理せず返却する場合があります。

※ TOEFL、TOEICの成績は、出願時から遡って2年間のものを有効とします。提出すべき成績通知書又は証明書は、実用英語技能検定(英検)「合格証明書」、TOEFL「受験者控えスコアレポート」、TOEIC「公式認定証」、IELTS「成績証明書」とします。TOEFLはiBT、TOEICはL&Rを対象とします。TOEFL ITP、TOEIC IPでは出願できません。

※ 上記証明書等が、日本語以外で記載されている場合は、日本語で翻訳したものを添付してください。

※ 上記証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。

※ 出願書類の作成において、ChatGPTなどの生成AIを使用しないでください。

4 出願上の注意

- (1) 出願は1学部1学科に限ります。併願は認められません。
- (2) インターネットによる出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願受付完了にはなりません。出願書類を出願期間内に提出（郵送）後、出願受付完了になります。
- (3) 出願受付完了後は、いかなる理由があっても出願書類の変更は認められません。
- (4) 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。
- (5) 出願書類等に不備がある場合には、受理しません。
- (6) 出願書類は、下記(7)アを除き返却できません。
- (7) 一旦納入した入学検定料は、次のいずれかに該当する場合を除き返還はできません。入学検定料の返還を希望する場合は、2025年11月28日(金)までにお問合せください。
 - ア 提出書類の不備等により出願が受理されなかった場合
 - イ 提出書類を郵送しなかった場合
 - ウ 入学検定料免除の対象として所定の手続を行った場合（事前申請が間に合わない場合）
 - エ 誤って二重に入金した場合
- (8) 出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

5 受験票について

- (1) 受験票印刷可能期間 2025年8月25日(月)～2026年1月23日(金)
- (2) 受験票は、印刷可能期間中インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷可能です。A4サイズの用紙に印刷し、二つ折りにしてください。
- (3) 試験当日は、印刷した受験票を必ず持参してください。
- (4) 受験票には、メモなどを記入しないでください。記入していることを発見した場合は、不正行為とみなす場合があります。
- (5) 受験票は、入学手続及び入試情報の成績開示等に必要ですので、大切に保管しておいてください。

6 受験及び修学上の配慮について

障害や疾病などで、受験及び修学上特別な配慮を希望する入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に下記連絡先へ相談の上、2025年7月11日(金)までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

7 過去問題の閲覧について

過去の試験問題は、土曜日、日曜日、祝日を除き、北九州市立大学 入試・研究支援課窓口にて閲覧できます。その際、身分証明書（運転免許証、学生証等）が必要ですので持参してください。

●閲覧受付時間 平日 9:00～16:00（12:15～13:15を除く）

8 入学検定料の免除について

2026年度入学試験において、令和6年能登半島地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に下記連絡先へ相談の上、2025年7月11日(金)（必着）までに本学が指定する書類を提出してください。詳細・指定する様式については、本学ホームページでご確認ください。

連絡先

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022
(ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)

C 試験

1 受験上の注意

(1) 持参物について

- ・受験票を必ず持参してください。(受験票は8月25日(月)から印刷可能)
- ・筆記用具(鉛筆(シャープペンシル)、消しゴム)、時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)を持参してください。貸出しは一切できません。
- ・試験時間中は、スマートフォン・携帯電話・ウェアラブル端末・タブレット端末等の通信機器を時計として使用することはできません。また、これらの通信機器は、必ず電源を切り、カバンにしまっておいてください。イヤホンを含め身に付けることはできません。そのほか、電卓・そろばん・電子辞書・定規及びこれに類するものの持ち込みも厳禁です。発見した場合は、不正行為となる場合があります。

(2) 所持品の取扱いについて

①受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆、鉛筆キャップ（和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
- ・シャープペンシル、シャープペンシルの芯（ケースは不可。）
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・手動式の鉛筆削り
- ・時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- ・眼鏡、ハンカチ（英文字や地図等がプリントされているものは不可。）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）

②試験時間中に、次のものを使用してはいけません。

- ・定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
- ・携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類

(3) 来場について

- ・公共交通機関をご利用ください。（自家用車の学内乗り入れは固くお断りします。）
- ・試験当日は午前9時30分までに、試験室に集合してください。

※遅刻制限について

遅刻は、試験開始後20分までに入室した者に限り認めます。
ただし、面接試験については遅刻を認めません。

※公共交通機関が遅延した場合

定期に運行している公共交通機関の大幅な遅れにより試験開始時刻に遅刻した場合には、所定の試験時間を確保して試験を行います。その際、当該公共交通機関を利用したことの証明のため、乗車時刻、到着時刻等をあらかじめ記録し申告してください。（自家用車の利用による遅延は、この対象となりません。）

(4) 面接の待ち時間について

受験者数によって面接の順番が来るまで時間を要する場合がありますので、読書や勉強などで時間を費やすことができるよう準備をお願いします。（ゲーム、スマートフォン、携帯電話及び電子辞書などの電子機器類の使用は禁止します。）

また、飲食は可能ですので、必要な方は各自でご準備ください。

(5) 不正行為について

カンニングなどの不正行為を行った場合には失格とします。また、試験中に試験監督者の指示に従わなかった場合は、その試験を0点とする場合があります。

2 試験会場

(1) 試験会場 北九州市立大学北方キャンパス本館 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号
(本要項最終頁案内図参照)

(2) 主要交通機関 北九州モノレール利用
JR小倉駅(乗り換え)⇒モノレール「小倉」駅乗車⇒(乗車時間約10分)⇒モノレール「競馬場前(北九州市立大学前)」駅下車⇒(徒歩約3分)⇒北九州市立大学北方キャンパス

D 試験後

1 合格発表

(1) 合格発表日時 2025年9月12日（金）午前10時頃

(2) 合格発表方法

- ① ホームページ 合格発表日の午前10時頃、本学ホームページに合格者受験番号を掲載します。
ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>
- ② 合格通知 合格者には、発表日当日に「合格通知書」を簡易書留で発送します。この通知は、「日本国内の連絡先」に対して行います。未着の場合、郵便局の不在票を確認してください。

※合格に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません。

※学内掲示は行いません。

2 入学手続

- (1) 入学手続期間 2026年1月20日(火)～1月23日(金) 17:00必着
- (2) 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせします。主な必要書類は、住所カード、授業料口座振替依頼書、学生証用写真(縦4cm×横3cm、カラー、2枚)等です。
- (3) 入学手続には、本学の受験票が必要です。大切に保管しておいてください。
- (4) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。
- (5) 期間内に、入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。
- (6) 一旦納入した入学金は、いかなる理由があっても返還しません。なお、高等教育の修学支援新制度に係る入学金の取扱いについては、8ページを確認してください。
- (7) 経済学部及び法学部合格者は、10月下旬(予定)に、単位認定書類(2025年1学期までの成績証明書、講義要項等)を提出していただきます。詳細は、「合格通知書」送付の際にお知らせします。

3 入学金等納入金一覧 (現行の金額です。変更となる場合があります。)

(1) 入学金

(単位:円)

| 区分 | | 外国語学部 | 経済学部 | 文学部 | 法学部 |
|-----|----------|---------|---------|---------|---------|
| 入学金 | 北九州市内居住者 | 282,000 | 282,000 | 282,000 | 282,000 |
| | 上記以外の者 | 423,000 | 423,000 | 423,000 | 423,000 |

(2) 保険料及び諸会費

(単位:円)

| 区分 | | 外国語学部 | 経済学部 | 文学部 | 法学部 |
|-------------|---------------------------|-------------------------------|-----------------|---------------|--------|
| 保険料 | 学生教育研究災害 傷害保険 (学研災) | 1,750 | 1,750 | 比較文化学科 1,750 | 1,750 |
| | | | *2,600 | 人間関係学科 *2,600 | *2,600 |
| | 学研災付帯 賠償責任保険 (学研賠) | 680 | 680 | 比較文化学科 680 | 680 |
| | | | *1,020 | 人間関係学科 *1,020 | *1,020 |
| 諸 会 費 | 後援会費 | 45,000 | 45,000 | 45,000 | 45,000 |
| | 同窓会 会費 | 入会金 30,000 会費 20,000 | 30,000 | 30,000 | 30,000 |
| | | | 20,000 | 20,000 | 20,000 |
| | 学会費 | 5,000 | 5,600 | — | 5,000 |
| | | | *7,800 | | *7,500 |
| | 学友会費 | 13,800 | 13,800 | 比較文化学科 13,800 | 13,800 |
| *20,200 | | | 人間関係学科 *20,200 | *20,200 | |
| 合 計 | 116,230 | 116,830 | 比較文化学科 111,230 | 116,230 | |
| | | *126,620 | 人間関係学科 *118,820 | *126,320 | |

- 備考 1 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者若しくは2親等内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は市民税非課税者)であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類(市民税納税証明書、納税義務者の住民票、入学者と納税義務者の続柄がわかる書類など)が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は市民税非課税者)」であるためには、2025年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
- 2 保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額です。保険料、学友会費、学会費は2ヵ年分。後援会費は在籍期間中における会費、同窓会費は終身会費です。なお、経済学部、文学部人間関係学科及び法学部で2年次に編入した場合は、*の金額になります。
- 諸会費については、入学の必須条件ではありません。
- 3 本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入をしていただき、万が一の場合に、学生の負担軽減を図ることとしています。この保険は、教育実習やインターンシップに参加する際に、必要な保険となっています。
- ※【参考】学研災付帯賠償責任保険(学研賠):正課(特に、実験・実習等)、学校行事、課外活動及びその往復中の賠償責任事故を対象。

4 年間授業料（現行の金額・納入方法です。入学時に変更となることがあります。）

| 学 部 | 年間授業料 | 納入回数 | | 納 入 方 法 |
|--------------|----------|----------|----------|--|
| | | (第1期) | (第2期) | |
| 外国語・経済・文・法学部 | 535,800円 | 267,900円 | 267,900円 | 口座振替による、年間2期の分割納入です。 入学手続き時に口座振替依頼書を提出して いただきます。 |

※在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されることとなります。

【高等教育の修学支援新制度について】（学士入学を除く）

本学は「大学等における修学の支援に関する法律」において要件の確認を受けています。
支援内容は、日本学生支援機構の給付型奨学金支給及び授業料・入学金の減免です。

大学における手続は、合格後に発送する入学の手引及び入学後のオリエンテーション時に配付する
奨学金の案内でお知らせします。

○参考ウェブサイト

文部科学省ホームページ

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>

E 入試における感染防止対策について

「2026年度編入学試験」（2025年度に実施する試験）における感染防止対策については、文部科学省の
方針等を踏まえ、決定次第、本学ホームページ（<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>）に掲載いたします。

連絡先

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係 TEL 093-964-4022

F その他

1 教育目的

外国語学部：外国語の高度な運用能力を持ち、専攻する地域の文化・社会・歴史・政治経済と国際関係に関する専門的知識を有し、国際社会で活躍できるグローバルな人材の養成

| 英 米 学 科 | 中 国 学 科 | 国際関係学科 |
|--|---|---|
| 高度な英語運用能力と、英米及び英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成 | 高度かつ実践的な中国語運用能力と、中国及び中国語圏の言語・文学・文化・歴史・経済などに関する専門的知識を兼ね備えた、国際社会で活躍できる人材の養成 | 国際関係と地域研究の発展的な知識と、英語を中心に優れた語学力を兼ね備え、グローバルな視野に立って活躍できる国際人の養成 |

経済学部：幅広い教養と経済・経営情報に関する基礎及び応用分野の知識を持ち、社会や経済・経営の諸問題を論理的に分析し解決する能力を兼ね備えた人材の養成

| 経 済 学 科 | 経 営 情 報 学 科 |
|--|---|
| 豊かな教養と経済学の基礎及び応用分野に関する知識を兼ね備え、理論と実践を統合することにより、社会や経済の諸問題を解決できる人材の養成 | 幅広い教養を身につけ、経営学を理解し、情報科学や会計学の手法も駆使することで、さまざまな企業経営や社会に関する諸問題を解決できる人材の養成 |

文学部：自文化の発信と異文化への理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材、または、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成

| 比 較 文 化 学 科 | 人 間 関 係 学 科 |
|--|--|
| 日本文化と欧米文化をはじめとする異文化への深い認識を持ち、自文化の発信と異文化の理解を深める能力を持つ世界的な視野に立った人材の養成 | 人間の存在、行動、発達を社会環境や自然環境などとの関連において学際的、総合的に把握し、真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求する人材の養成 |

法学部：社会における様々な問題を発見・分析する能力を備え、法的思考力や政策立案・評価能力を駆使することにより、弾力的で総合的な判断に基づいて問題を解決し、社会の発展に貢献することができる人材の養成

| 法 律 学 科 | 政 策 科 学 科 |
|--|--|
| 法理論の深い理解、広い知識及び総合的判断力を持ち、法現象に対して弾力的に対処し得る法的思考力・処理能力を備えた人材の養成 | 地域社会、国際社会などにおける様々な問題を発見し分析する能力、解決策を立案する能力、さらに評価能力を有した人材の養成 |

2 アドミッション・ポリシー

外国語学部英米学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部英米学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 世界の文化や情勢、社会、経済に高い関心を持ち、世界的な視野を持って意欲的に学び、自ら情報発信にも積極的な人
- 英語による高度なコミュニケーション能力の獲得を目指し、積極的に努力する人
- 国際社会での活動に熱心に取り組み、言語・文化・ビジネスの領域を中心にキャリア形成を図ろうとする意欲を有した人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|---|---|---|
| 求める能力 | | ・ 英語および英語圏の文化・社会・ビジネス分野について学ぶために必要な幅広い基礎学力を身につけている。 | ・ 英語圏を中心に世界の文化・社会について英語で自分の考えを述べるために必要となる思考力・判断力・表現力を身につけている。 | ・ 異文化圏の人々と積極的に交流・協働し、相互理解を深め新しい価値の創造を目指す姿勢を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 英語 | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

外国語学部中国学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部中国学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 英語以外の新しい言語を学ぶ意欲を持ち、その修得に挑戦しようとする人
- 多様な文化をもつ中国・アジア社会に関心を持ち、グローバル社会の多様性や複雑性をより深く理解したい人
- 修得した中国語や身につけた知識を活かして、アジア圏を中心に国際社会で活躍したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|---|---|---|
| 求める能力 | | ・ 入学後の修学に必要な幅広い基礎的な知識・技能を備えている。 ・ 英語に関して、基礎的な読解力、表現力を備えている。 ・ 外国語を修得する素養を備えている。 | ・ 文章を読んで、その内容について、論理的に、思考・判断し、自分の考えを分かりやすく表現する力を備えている。 ・ 問いや質問の内容を理解・判断し、自分の考えを分かりやすく明確に表現する力を備えている。 | ・ 積極的に他者とコミュニケーションを取り、他者の考えを理解しようとする姿勢を持っている。 ・ とともに学ぶ合うことで自分自身を向上させようとする姿勢を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 中国語 (リスニングを含む) | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | ○ | ○ |

外国語学部国際関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

外国語学部国際関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国際関係の分野に高い関心を持ち、国際社会の諸相を多角的に深く理解したい人
- 英語および中国語・朝鮮語などを用いてグローバル化した社会での活躍を目指す人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|------------------------------------|---|---|--|
| 求める能力 | | ・ 英語などの外国語における基礎的な読解力、表現力および実践的運用能力を備えている。 ・ 国際関係に関する文章を理解し得る基礎的な読解力および知識を備えている。 | ・ 国際関係を学ぶ上で必要な論理的な思考力・判断力を備えている。 ・ 自分の考えを他者に明確に伝える表現力を備えている。 | ・ 国際関係に対する問題関心や学習意欲を持っている。 ・ 文化的多様性に配慮しながら他者と円滑にコミュニケーションを図り、協力して目標を達成する意欲を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 小論文 | ○ | |
| | 面接 (TOEFL 又は TOEIC、 入学希望理由書) | ○ | | ○ |

経済学部経済学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経済学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 経済活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人
- 大学で専門分野として学んだ経済学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|---|--|--|--|
| 求める能力 | | <ul style="list-style-type: none"> ・経済学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・経済社会に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経済問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 専門試験（ミクロ経済学・マクロ経済学の2分野から各1問：全問解答） | ○ | | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

経済学部経営情報学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

経済学部経営情報学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 企業をはじめとする様々な組織の経営活動に広く関心を持ち、その仕組みを理解したい人
- 大学で専門分野として学んだ経営学、会計学、情報科学の知識や分析手法を仕事に活かし、社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|--|---|---|--|
| 求める能力 | | <ul style="list-style-type: none"> ・経営学、会計学、情報科学を学ぶために必要な幅広い基礎学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめるために必要な日本語と外国語の語学力を身につけている。 ・様々な組織の経営活動に関する仕組みや歴史を理解するために必要な知識と数理的素養を持っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営に関わる諸問題を明敏に思考・判断し、解決するために必要な論理展開力を身につけている。 ・文章を読み、その内容と自らの考えを分かりやすく的確に伝えることができる日本語と外国語の表現力を備えている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な活動において他者と協働し、コミュニケーションを取りながら、主体的に行動する意欲および姿勢を持っている。 ・自分のキャリアビジョンが明確で、資格取得など、その実現に向けて努力する姿勢を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 専門試験（マネジメント・会計・情報の3分野から各1問：全問解答） | ○ | | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

文学部比較文化学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部比較文化学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 継続的かつ自主的に学ぶ姿勢を身につけており、多様な文化への好奇心が旺盛な人
- 異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションに積極的な人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|---|---|--|
| 求める能力 | | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化を学際的、総合的に研究するのに必要な基礎的な学力を持っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化に関する諸問題について、他者の考えを理解した上で自分の意見を論理的かつ的確に表現する力を持っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な価値観や異なる文化的背景を尊重しつつ、他者と協働関係を築き、問題解決に臨む態度が身につけている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 小論文 | | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

文学部人間関係学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

文学部人間関係学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 十分な基礎学力と継続的に学修に臨む姿勢を身につけており、人間関係を取り巻く事柄に対して高い問題意識を持っている人
- 真の意味での人間の健康的な生活のあり方を探求することに強い関心を持った人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|---|---|--|
| 求める能力 | | ・人間と社会や自然との関係について学際的、総合的に探究する学修を始めるに当たって、必要な基礎的な学力を持っている。 | ・人間関係の諸課題について他者の考えを参照しつつ、思考して自分の意見を構築し、それを的確に表現する力を持っている。 | ・多様な意見を尊重しつつ、包括的なコミュニケーションを通して協働的に物事を解決する態度を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 小論文 | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

法学部法律学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部法律学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 日常生活における法的諸問題に高い関心を持ち、それらに対応できる知識や技能を修得したい人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で学んだ知識や技能を社会生活における様々な場面で活かそうという意欲のある人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|---|--|--|
| 求める能力 | | ・法学を学ぶ上で必要な幅広い基礎的な学力を備えている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。 | ・社会における諸問題に対して自分の頭で論理的に思考・判断することができる。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。 | ・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 小論文 | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

法学部政策科学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

法学部政策科学科は、次のような人を求めます。

（求める学生像）

- 国や地域、国際社会の抱える様々な問題に関心を持ち、政治・政策を分析する能力を修得する意欲にあふれる人
- 広い視野を持って、物事を多面的かつ論理的に考察することができる人
- 大学で得た知識や能力を様々な場面で活かし、広く市民社会・国際社会に貢献したい人

（求める能力、入学者選抜における重点評価項目） ※ 特に評価する項目に「○」をつけています。

| | | 知識・技能 | 思考力・判断力・表現力等の能力 | 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度 |
|-------|-----------------|--|--|--|
| 求める能力 | | ・政策科学を学ぶために必要な幅広い基礎的な学力を持っている。 ・文章を読み解き、考えをまとめる日本語と外国語の語学力を身につけている。 | ・国や地域における様々な問題に対して、論理的に思考・判断し、解決するために必要な能力を持っている。 ・文章を読み、その内容を的確に伝えたり、自分の考えを分かりやすく表現することができる。 | ・多様な人々とコミュニケーションを取りながら、主体的に行動する姿勢を身につけている。 ・他者の異なった考えに謙虚に向き合い、社会における諸問題に対応しようとする意欲を持っている。 |
| 編入学 | 個別テスト等 | 小論文 | ○ | |
| | 面接 (入学希望理由書) | | | ○ |

3 ディプロマ・ポリシー

基盤教育における学位授与方針

| | |
|---------------------------|--|
| 豊かな「知識」 | ・地域社会の課題や政策について、地域の文化・歴史、経済・産業等の魅力をふまえながら理解する力を身につけている。 ・生命や自然、環境問題の基礎を理解し、持続可能な環境共生社会の実現に向けて貢献する意識をもっている。 ・国際社会の諸問題を理解し、世界的な視野をもって行動できる力を身につけている。 |
| 知識を活用できる「技能」 | ・英語などの基礎的運用能力、情報リテラシー、資料等を読み解く技能を身につけている。 |
| 次代を切り開く「思考・判断・表現力」 | ・多様なものの見方、考え方、価値観などを理解し、思考・判断することができる。 |
| 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」 | ・個人の異なる生き方や価値観を理解し、社会と調和し、組織や社会の活動を促進することができる。 |
| 社会で生きる「自律的行動力」 | ・他者との関わりの中で自己を律し、自己のキャリア形成に向けて継続して学び、公共性、倫理性を持って行動できる。 |

専門教育における学位授与方針

■外国語学部

| 観点 | 英米学科 | 中国学科 | 国際関係学科 |
|---------------------------|--|--|---|
| 豊かな「知識」 | ・世界の文化的・社会的事象に関わる幅広い知識を基盤に、コアとなる「英語学・英語教育」「国際文化社会」「グローバルビジネス」のいずれかの専門分野に関する知識を体系的・総合的に身につけている。 | ・専門分野である中国語に関し、その運用に必要な知識、中国語圏の文学・文化・歴史・社会に関する知識を体系的に身につけている。 | ・国際政治経済やアジア太平洋地域の政治外交に関する社会科学の基礎知識を修得し、それをもとに個々の地域が持つ特性を理解している。 |
| 知識を活用できる「技能」 | ・英語の4技能(読む・聞く・話す・書く)の修得に加え、英米及び英語圏を中心に世界の文化・社会的な背景の理解のもと、国際社会で活躍するために必要な高度な英語を適切に運用できる能力を身につけている。 | ・中国語の4技能(読む・聞く・話す・書く)をバランス良く修得し、中国語圏の文化的背景への理解のもとで、中国語を適切に運用できる。 | ・国際関係論と地域研究の学修に関して、社会科学の立場から、必要な情報を収集・調査・分析することができるとともに、英語をはじめ、東アジアで活躍するための中国語または朝鮮語の基礎語学力を身につけている。 |
| 次代を切り開く「思考・判断・表現力」 | ・流動的に変化している国際情勢や世界の文化・社会の諸問題に関する学修を通して、グローバルな視点から事象を多面的に捉え、学際的・複眼的に思考して解決策を探求し、多様な人種や文化を背景に持つ社会の中で、自分の意見を英語で明晰に表現することができる。 | ・変化が著しい中国語圏をはじめとする諸地域の文化や社会情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に思考することができ、自分の考えや判断を表現することができる。 | ・国際情勢に関する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的な思考・判断により、解決策を提案できる応用力を持つとともに、専門的見地から自分の考えや判断を表現することができる。 |
| 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」 | ・広く国際的な視野を身につけるための学修を通して、多種多様な国籍の文化や言語を背景に持つ他者と協働して効果的に活動できるコミュニケーション力を有している。 | ・多様な民族や文化を包摂する中国語圏に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。 | ・国際的な観点から行う地域の特性に関する学修を通して、多様な文化や言語を背景に持つ他者と協働して活動できるコミュニケーション力を有している。 |
| 社会で生きる「自律的行動力」 | ・英語や異文化に関する学修を通して、文化・社会への関心とキャリア意識を持ち続け、広い視野を持つ国際人として、主体的に行動できる。 | ・中国語の運用能力や中国語圏の文化・社会に関する学修を通して、文化・社会への関心を持ち続け、より良き未来に向けて行動できる。 | ・国際社会に関する学修を通して、国際関係と地域研究への関心を持ち続け、グローバル社会の一員として貢献できる姿勢を身につけている。 |

■経済学部

| 観点 | 経済学科 | 経営情報学科 |
|---------------------------|--|---|
| 豊かな「知識」 | ・専門分野である経済学の基礎知識を修得し、それを基にした応用知識を体系的・総合的に身につけている。 | ・専門分野である「経営学」、「会計学」、「情報科学」の基礎知識および応用知識を体系的に身につけ、企業をはじめとする様々な組織の経営活動について理解している。 |
| 知識を活用できる「技能」 | ・経済学の専門知識を活かして、問題解決に向けて、必要とされる情報を自ら収集するとともに、「経済モデル」の展開と「データ」の分析を行うスキルを身につけている。 | ・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通じて、経営に関わる諸問題の解決に必要なとされる「企業」、「財務・会計」、「情報システム」の分析を行うスキルを身につけている。 |
| 次代を切り開く「思考・判断・表現力」 | ・経済学の知識と分析スキルにより、社会・経済の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。 | ・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の知識と分析スキルにより、様々な組織を取り巻く経営環境の変化や社会の動向を論理的に考察し、専門的見地から自身の考えや判断を表現することができる。 |
| 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」 | ・経済学の学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して経済や社会の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 | ・様々な組織の経営に関する学修を通じて、組織やチームのメンバーと積極的な議論をしながら、協働して組織経営の諸問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 |
| 社会で生きる「自律的行動力」 | ・経済学の応用分野や地域経済に関する学修を通して、社会・経済への関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。 | ・「経営学」、「会計学」、「情報科学」の学修を通して、様々な組織の経営活動に関心を持ち続け、社会の発展に向けて取り組む意欲を有している。 |

■文学部

| 観点 | 比較文化学科 | 人間関係学科 |
|---------------------------|--|--|
| 豊かな「知識」 | ・文化資源の保存・活用及び多様な文化の交流・共生について幅広い知識を身につけるとともに、文学、思想、言語、歴史、美術、宗教、生活文化、メディアなどの自らの専門分野について体系的に理解している。 | ・人間関係及び人間と社会や自然との関係を解明するための基礎的な知識や概念、法則を体系的に身につけ、学修によって得られた知識と現実の人間関係にかかわる課題とのつながりを理解している。 |
| 知識を活用できる「技能」 | ・英語もしくはそれ以外の諸言語を用いて基本的なコミュニケーションができるとともに、専門書など必要な文献を読みこなすことができ、自らの専門分野についての研究方法を身につけている。 | ・人間関係の諸原理の解明に関し、必要な調査や実験を実施するための基礎的な方法論をはじめ、資料やデータを分析して結論を導くための技能を身につけている。 |
| 次代を切り開く「思考・判断・表現力」 | ・文化資源・文化共生の課題について、論理的に思考し判断する力と、自文化を論理的かつ的確に発信する力を身につけている。 | ・人間関係の諸原理を解明する学修を通して、様々な事象に対し総合的、論理的に考察し、専門的な見地から自らの考えや判断を表現することができる。 |
| 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」 | ・文化資源・文化共生の学修を通して、地域社会におけるつながりを創り出す力と、他者と協働し、組織や社会の活動を促進する力を身につけている。 | ・人間関係の諸課題に関する学術的研究を通して、多様な考えを持つ他者と包括的な議論を行いながら、協働して活動できる力を有している。 |
| 社会で生きる「自律的行動力」 | ・文化資源・文化共生への理解を通して、地域・国際社会における文化の振興と交流に貢献する姿勢を身につけている。 | ・人間関係の諸課題について問題意識を持ち続け、学修成果である人間関係及び人間と社会や自然との関係を理解し、実践につなげる姿勢を身につけている。 |

■法学部

| 観点 | 学科 | 法律学科 | 政策科学科 |
|---------------------------|----|--|---|
| 豊かな「知識」 | | ・社会において生起する様々な法的問題を読み解くための法学に関する知識を体系的に身につけている。 | ・21世紀の市民として、「政治・民主主義」の基礎知識及びまちづくり、環境政策、社会政策、都市政策などの公共政策分野の課題解決に必要な専門的知識を体系的・包括的に身につけている。 |
| 知識を活用できる「技能」 | | ・法的な問題点を抽出し、その解決に必要な情報を自ら収集・分析・整理するとともに、法令を解釈・適用するための基礎的な技法を身につけている。 | ・政策科学の学修を通じて、政策の立案に向けて必要なデータを読み解くとともに、フィールドワークや統計処理などの手法により調査・分析を行うことができる。 |
| 次代を切り開く「思考・判断・表現力」 | | ・法学に関する様々な課題を発見し、法的思考に基づいた判断を行い、そのプロセスや結論を口頭や文章で論理的に表現することができる。 | ・社会が抱える問題への政策を考察する学修を通じて、個別・具体的な課題を発見し、社会科学の観点からの論理的な分析をもとに、様々な観点から物事を捉えた独自の政策を立案し、その効果を評価できる力を身につけている。 |
| 組織や社会の活動を促進する「コミュニケーション力」 | | ・法学の学修を通じて、異なる意見を持つ他者との議論を行いながら、協働して法的問題の解決に向けて取り組む姿勢を身につけている。 | ・公共政策課題の解決に向けた政策に関する学修を通じて、幅広い分野と交流して異なる意見をもつ他者と議論を行いながら、建設的・効果的にコミュニケーションを取って協働することができる。 |
| 社会で生きる「自律的行動力」 | | ・法学の学修を通じて、社会において生起する様々な法的問題に関心を持ち続け、より良い社会の実現に向けて行動する姿勢を身につけている。 | ・公共政策に関する学修を通じて、社会が抱える問題を政策的に考える意欲を持ち続け、より良い市民社会の実現に向けて行動できる姿勢を持っている。 |

4 入試情報の成績開示について

北九州市立大学では、以下の要領で入学試験個人情報の開示を行います。

(1) 開示する入試個人情報の範囲

開示する2026年度の入試情報の範囲は次のとおりです。

- ①試験結果 個別テストの科目別得点及び合計点
- ②総得点
- ③出願書類

(2) 開示請求の方法

下記の書類を揃えて北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係に申請してください。

ただし、請求ができるのは、受験生本人のみです。

①窓口で請求する場合

- ・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書
- ・返信用封筒（長形3号） 切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- ・本人を証明するもの 本人を確認できる写真入りの証明書(原本)又は本学受験票(原本)を持参してください。
(証明書の例 学生証、運転免許証等)

②郵便で請求する場合

- ・北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書
- ・返信用封筒（長形3号） 切手460円分を貼り、送付先の住所、宛名を記入したもの。
- ・本学受験票（A4用紙にコピー）
- ・本人を証明するもの 本人を確認できる写真入りの証明書（A4用紙にコピー）
(証明書の例 学生証、運転免許証等)
*ただし、写真が鮮明なものに限る

※受験時と氏名が異なっている場合は戸籍謄本等も同封（窓口申請の場合は持参）してください。

※添付書類に不備がある場合は受理できません。

(3) 入試情報の開示（通知）方法

①試験結果の開示の場合

- ・請求後、返信用封筒に成績通知書を入れて、簡易書留で送付します。（1ヶ月程度必要です。）

②出願書類の開示の場合

- ・受付窓口での閲覧のみとなります。（コピー不可）
- ・申請受付後に本人宛に送付する成績通知書を受付窓口を持参してください。
- ・閲覧の際は、成績通知書の他に本人を証明するものを持参してください。
(証明書の例 学生証、運転免許証等)

(4) 開示請求書（様式）について

北九州市立大学入学試験個人情報開示請求書は、2026年4月に本学ホームページに掲載します。

(5) 開示請求の受付期間等

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 受付期間 | 2026年5月1日（金）～5月29日（金）（土、日、祝日除く） |
| 閲覧期間 | 2026年6月1日（月）～6月30日（火）（土、日、祝日除く） |
| 受付・閲覧時間 | 平日 9：00～16：00（12：15～13：15を除く） |

【受付窓口・お問い合わせ先】

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係（TEL 093-964-4022）

5 個人情報の取扱いについて

北九州市立大学は出願に関して本学に提供された個人情報について、公立大学法人北九州市立大学個人情報保護管理規程に基づき、適切に取り扱います。

【個人情報の利用目的について】

本学が取得した個人情報については、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 志願者の氏名、生年月日、連絡先、成績などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- (2) 合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

【個人データの取扱いの委託について】

本学は、利用目的の範囲内で、個人情報の取扱い業務の一部又は全部を外部に委託することがあります。この場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、契約等において個人情報の適正管理・機密保持等により個人情報の漏洩防止に必要な事項を取り決め、適切な管理を実施させます。

6 個人用ノートパソコンの必携について

本学では、授業、履修登録、レポートの作成・提出、教員や大学からの連絡等でパソコンを活用しています。また、個人パソコンを使つての授業も予定されていますので、本学に入学の際は個人用ノートパソコンをご準備（必携）いただきますよう、あらかじめご案内いたします。

なお、ノートパソコンに必要な機能や推奨スペックなど詳細につきましては、今後、本学ホームページでご案内いたします。

<お問い合わせ先>

北九州市立大学 学術振興課教務第一係 TEL 093-964-4036

| | | | |
|--------|----|----|---|
| 志 望 | 学部 | 学科 | ※ |
|--------|----|----|---|

※印欄は記入しない。

2026年度 **編入学** (学士入学を含む) **試験 入学希望理由書**

出身学校名

学部・学科名

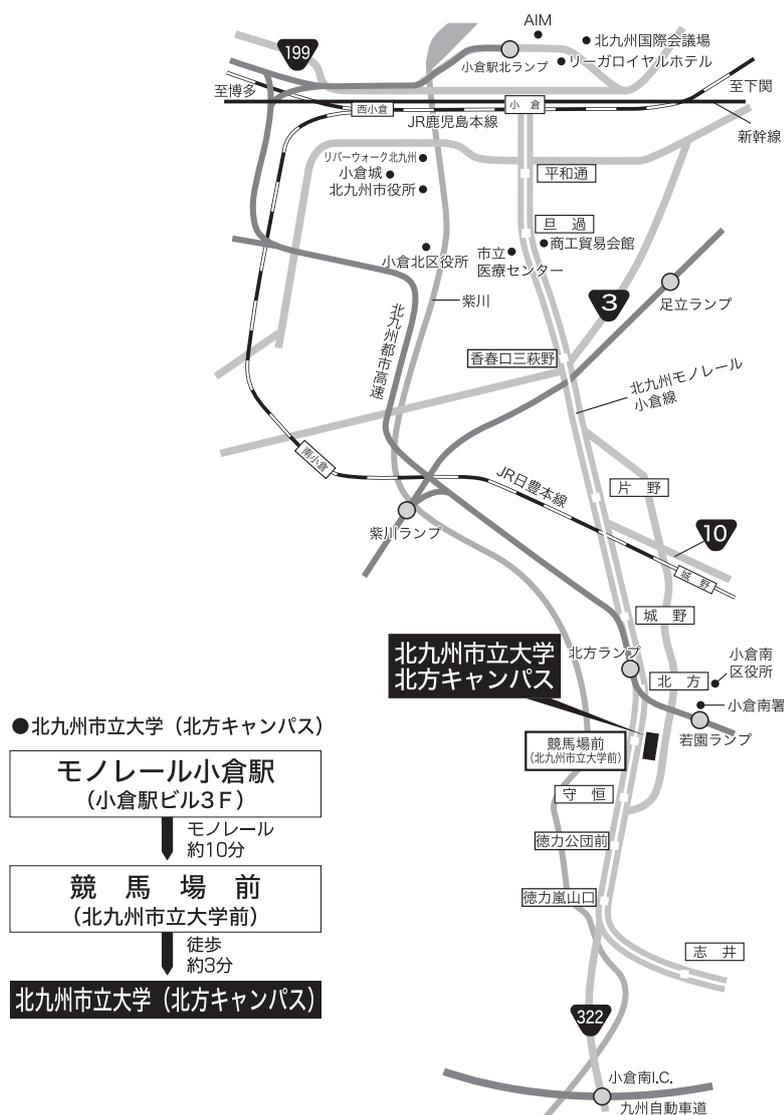
氏 名

(西暦) 年 月 日生

入学希望の理由及び将来の希望・方針について (横書きで記入。鉛筆書き不可)

| |
|--|
| (This area contains horizontal dashed lines for writing the reasons and future hopes.) |
|--|

試験会場



●北九州市立大学（北方キャンパス）

モノレール小倉駅
（小倉駅ビル3F）

モノレール
約10分

競馬場前
（北九州市立大学前）

徒歩
約3分

北九州市立大学（北方キャンパス）

<お問い合わせ先>

北九州市立大学 入試・研究支援課入学試験係

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

TEL 093-964-4022

E-Mail nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

[大学ホームページ <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>]]

※受験票は8月25日(月)から印刷可能です。インターネット出願サイトの「申込確認」画面から印刷し、試験当日に持参してください。



北九州市立大学 公式マスコットキャラクター
きたぎゅっち